「これからの 数学１　探究ノート」観点別評価規準例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **項　目** | **該当頁** | **学習内容** | **観点別評価規準例** | | | 時数 |
| **知識・技能** | **思考・判断・表現** | **主体的に学習に取り組む態度** |
| ① 1辺にx個ずつ並べたマグネット | p.4～7 | 正五角形に並べたマグネットの個数を文字を使って表す |  | ○規則的に変化する事象を，文字式を使って一般的に表すことができる。  ○文字式を具体的な場面で利用することができる。 | ○文字式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。  ○文字式を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 | 1～2 |
| ② 不等式の性質はある？【発展】 | p.8～11 | 等式の性質をもとにして，不等式の性質を見いだす | ○見いだした不等式の性質を，ことばや文字を用いて表現することができる。 | ○等式の性質をもとにして不等式の性質を見いだし，説明することができる。 | ○等式の性質をもとにして不等式の性質を見いだそうとしている。 | 1～2 |
| ③ 多面体の規則を見つけよう【発展】 | p.12～15 | 構成要素に着目して，いろいろな立体に共通する特徴を調べる |  | ○構成要素に着目して立体の特徴を考察し，説明することができる。  ○多面体の面，頂点，辺の数についての相互関係を見いだすことができる。 | ○立体を多面的に考察しようとしている。 | 1～2 |
| ④ ランドルト環をつくってみよう | p.16～19 | 比例や反比例の関係を利用して，目的に合ったランドルト環をつくる |  | ○具体的な事象から比例や反比例の関係を見いだすことができる。  ○比例や反比例を具体的な場面で利用することができる。 | ○比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。  ○比例，反比例を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 | 1 |
| ⑤ 機関庫の模型を作ろう | p.20～23 | 扇形機関庫を，投影図や展開図によって平面上に表現し，模型を作るための条件を整える | ○扇形機関庫の形を見取図，投影図，展開図で表すことができる。 | ○見取図，投影図，展開図を相互に関連付けてみることができる。 | ○現実の世界の具体物を数学的に捉え考察しようとしている。 | 1 |
| ⑥ きれいなおうぎ形 | p.24～27 | 集めたデータをもとに，どのようなおうぎ形がきれいな形だといえそうか考察する | ○おうぎ形の特徴を理解し，どのようなデータを集めればよいかを適切に判断できる。 | ○データを分析して分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。 | ○データの傾向を読み取り，批判的に考察しようとしている。 | 1 |
| ⑦ 日本の伝統的な文様 | p.28～33 | 伝統文様の中に基本図形の反復パターンを見いだし，図形の移動と関連付けて考察する | ○移動前と移動後の2つの図形の関係を理解している。 | ○移動前と移動後の2つの図形の関係に着目して図形の性質や関係を見いだし，説明することができる。  ○図形の移動を具体的な場面で利用することができる。 | ○2つの図形がどのような移動によって重なるかについて，多様な方法を考えようとしている。  ○移動前と移動後の2つの図形の関係について考えようとしている。 | 1 |